

## 神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会		
開催日時	令和7年12月17日（水） 14時30分～16時00分		
開催場所	本校会議室		
(役職名) 出席者	岡本 秀伸(能見台一丁目自治会長) 柏木 雅彦(金沢支援学校長) 川出 道紀(関東学院大学 事務局次長) 末松 隆一郎(横浜市立さわの里小学校長) 根本 ゆう子(横浜市上笹下地域ケアプラザ所長) 福元 摩湖(神奈川大学事務局次長) 桃井 貴裕(本校PTA会長) 坪内 幸子(横浜氷取沢高等学校長)		
次回開催予定日	令和8年3月10日		
問合せ先	神奈川県立横浜氷取沢高等学校 副校長 坂本 電話：045-772-0606 FAX：045-776-2468 メール y-hitorizawa-h@pen-kanagawa.ed.jp		
下欄に掲載 するもの	・議事録 ・議事概要	議事概要とした理由	
会議経過	(協議) ・韓国始興陵谷高校(姉妹校)との交流の見学、説明を通じて、本校の国際交流事業の一環をつぶさに見学できた。自然な形で交流を行っている姿は継続的な交流の成果がよく現れていた。 ・直接の相互訪問だけでなく、普段からグローバル教育を意識した様々な取り組み、英語教育の強化により学校の特色を打ち出して地域にも知ってもらえるような取り組みに期待したい。 ・グローバル教育の取り組みで生徒の意識の変化は、進路選択や話す力が伸展しているのを始め、学校説明会などでの中学生・保護者の関心も高まっている。 ・国際情勢や経済に左右され、渡航費用の高騰や交流事業の継続に難しさが増しているが、工夫を重ねて継続していきたい。 ・生徒はとても頑張っている姿が見られたが、心身の健康などにも今後配慮をいただきたい。 ・3年間を通しての取り組みについて、卒業生からの評価、3年間の進捗、伸長具合などがはかれるとよい。 ・進路選択などで様々な入試形態に合わせた進路実現を支援していくことが期待される。 ・部活動や生徒会活動も実績はまだ少ないが着実に生徒の活躍、主体的な取り組みが増えていると実感できる。 ・全体会議後、学校評価部会、地域連携部会をそれぞれ開催。		
会議資料	・令和7度学校案内 ・令和7年度横浜氷取沢高等学校 学校教育評価(目標設定)		